

## 平成21年度放課後子どもプラン推進委員会、合同研修会について

### (1)平成21年度実績

#### a 放課後子どもプラン推進委員会について(委員12名)

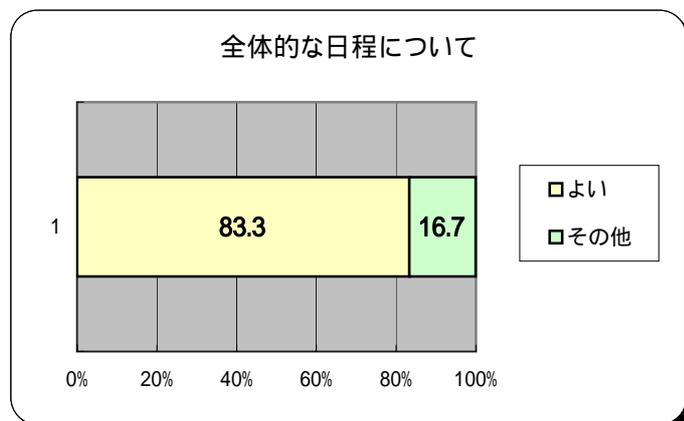
月日	推進委員会名	出席者数	内容等
H21 7.27(月)	第1回放課後子どもプラン推進委員会	8人	放課後子どもプラン概要説明、H21年度実施計画、意見交換等
H22 2. 2(火)	第2回放課後子どもプラン推進委員会	11人	平成21年度実施報告、高森町教育委員会による事例発表、意見交換等

#### b コーディネーター・安全管理員等研修の実施について

月日	研修内容等
H22 1.22(金)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 研修会会場：長野県総合教育センター講堂</li> <li>2 参加人数：129名</li> <li>3 研修内容               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)放課後子どもプランの概要について(事務局より説明)</li> <li>(2)講義「放課後改革で子どもが変わる」 (講師:明石 要一氏 千葉大学教育学部教授)</li> <li>(3)事例発表「地域で支えよう！放課後の子どもたち」 下諏訪町 麻績村</li> <li>(4)情報交換(グループワーク)「放課後の子どもたちにできること」</li> <li>(5)まとめ</li> </ol> </li> </ol>

### (2)合同研修会アンケートまとめ(アンケート回収数 90枚)

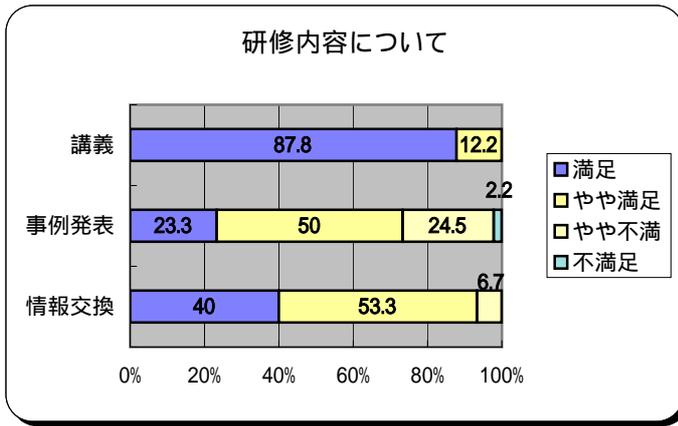
#### 1 全体的な日程について(開催月・曜日・時間など)



#### その他について、主な内容

- ・講堂が寒い。
- ・もう少し早い時期に実施できないか。
- ・年2回実施してほしい。
- ・学校関係者がもう少しいればよいと思う。

## 2 講義について



### 講義

・先生のお話の仕方、伝え方、内容、楽しく興味を持って聞くことができた。  
 ・子どもをとりまく環境について学べ、これからどうしたらいいのか、自分で考えることができた。

### 事例発表

・高齢化と少子化の中で、地域での取組が見えた気がした。自主的な活動、選択できるようなプログラムでやらされる、から「やりたい」へ変わっていけばいいと思った。

### 情報交換

・学童クラブの悩みなども聞くことができ、苦労されていることも知ることができた。  
 ・いろいろな市町村の運営の仕方を聞くことができよかった。

## 3 この研修で学んだことを今後どのように活かしていきたいか。(主なもの)

### 内容の充実

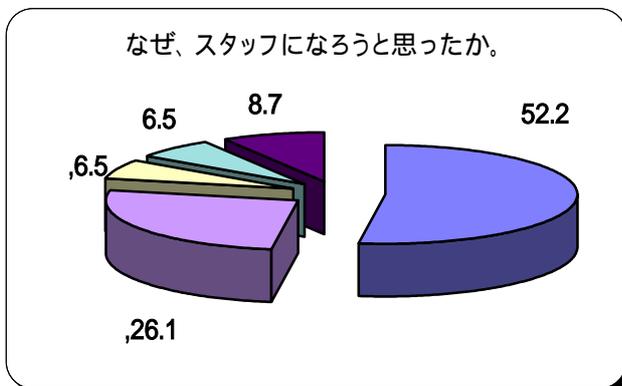
- ・子どもたちにたくさんの体験ができるような計画を立てる。日頃、毎日の時間の中からも体験・経験を大切にしていこうと思った。
- ・子どもの観察を通して、気持ち、行動を読み取るなどしたい。
- ・地域の一住民として子どもと関わり遊びながら、三角形の一边として力になりたい。

### 研修

- ・父母会を通して、保護者の方に研修会で学んだことを伝えていきたい。

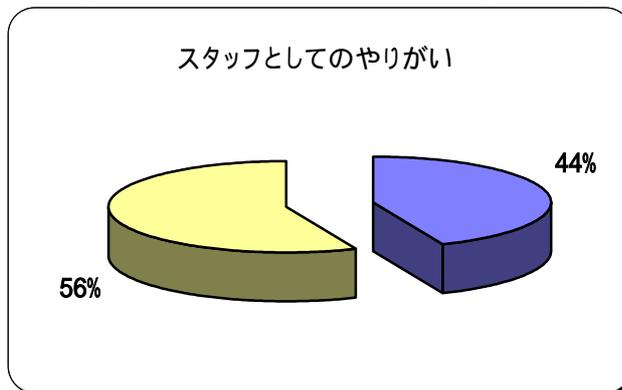
## 4 放課後子ども教室及び放課後児童クラブの現場スタッフへのアンケート

### a, どうしてスタッフになろうと思ったか。



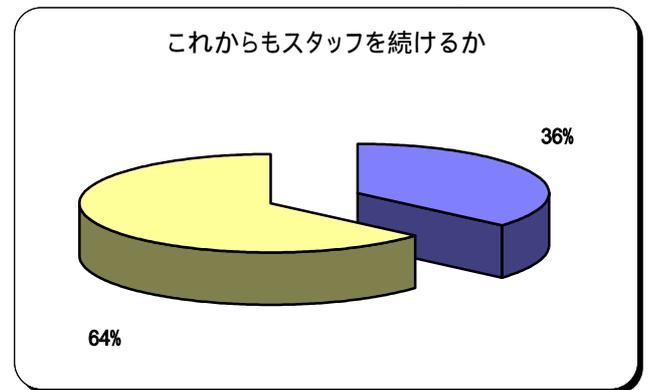
子どもが好きだから  
 社会の役に立ちたかったから  
 友人にさそわれたから  
 市町村の職員から頼まれたから  
 その他

### b, 現在スタッフとしてのやりがいはどうですか。



大変やりがいがある  
 まあ、やりがいがある  
 あまりやりがいがない

### c, これからもスタッフを続けたいと考えていますか。



ずっと続けたい  
 数年は続けたい  
 できればやめたい

d, 事業に参加(従事)している中での課題や感想

子どもと楽しくやっている。地域で出会った時、子どもの表情が明るくなりうれしい。  
自分自身色々学べるよい場となっている。  
3年やって、安全管理員も子どもたちも落ち着いてきたと感じている。

クラブ等子どもの居場所というよりは親の安心のための場所だけにならないように努めたい。  
スタッフの共通理解  
学校との連携不足  
保護者との関わり

子どもたちと体験していく内容を考えていく。